

授業概要

日本における社会的養護の歴史的な経緯を踏まえた上で、現代のサービスに求められているニーズとその実践について紹介しながら、国全体としての新しい施策と取り組みや援助者としての基本的な視点と施設における展開について講義する。

現場における援助の実際の内容について各種別ごとのサービス内容と現代的な課題について講義する。

授業計画

| | |
|------|----------------------|
| 第1回 | 社会的養護の基礎概念 |
| 第2回 | 子ども観と社会的養護理論 |
| 第3回 | パーマネンシープランニング |
| 第4回 | 日本における社会的養護の歴史 |
| 第5回 | 自立支援計画と子ども参画の視点 |
| 第6回 | 施設養護とケアマネジメント |
| 第7回 | 乳児院のサービス内容と課題 |
| 第8回 | 児童養護施設のサービス内容と課題 |
| 第9回 | 母子生活支援施設のサービス内容と課題 |
| 第10回 | 児童心理治療施設のサービス内容と課題 |
| 第11回 | 障がい児施設のサービス内容と課題 |
| 第12回 | 児童館のサービス内容と課題 |
| 第13回 | グループホームのサービス内容と課題 |
| 第14回 | 児童家庭支援センターのサービス内容と課題 |
| 第15回 | 保育所における社会的養護の視点 |
| 第16回 | 試験 |

到達目標

- ・施設における自立支援の歴史的な経緯と現代的なニーズの両方を理解できる。
- ・各施設の目的と機能、サービス内容について理解できる。
- ・施設における課題の解決方法を理解できる。

履修上の注意

児童養護分野で職員として働く場合をイメージしながら学習してほしい。

予習・復習

次回あつかうテキストの該当部分を読み込み、当日の授業で疑問に感じた点を自分なりに調べてみる。

評価方法

授業内小レポート 30%、学期末試験 60%、受講態度 10%。

テキスト

なし。(関連資料は配付します)